

平成27年度 中間期 学校評価

愛南町立平城小学校

【評価基準】 A:目標を達成 B:8割以上達成 C:6割以上達成 D:6割未満

項目	重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	アンケート結果					
						4	3	2	1	?	
1 教育課程・学習指導	確かな学力の定着向上に努める	① 授業時数が確保され、授業内容が計画通り実施できているか。 目標値 調査結果で、90%以上達成	A	◇ 時数の不足している教科が少しあるが、今後確保することができる予定である。 ◆ 懇談会・行事等の時間設定や専科教員による授業等で時数を確保していく。また、時数調整については、見直しをもって計画的に授業を行い、学期末に無理がないようにする。	授業時数集計結果 週案 教職員アンケート	不足している学年はあるが わずかである。	39%	61%	0%	0%	0%
		② ねらいを明確にして、分かる授業の実施に努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 学習課題を児童にきちんと把握させることで、児童が学習活動に対して意欲をもって取り組むことができている。 ◆ 教師がねらいを明確にして授業を組み立てるとい意識を徹底させるとともに、保護者へも情報発信していきたい。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	18% 76% 6% 0% 0% 69% 25% 5% 1% 0% 18% 68% 3% 1% 9%					
		③ 音読・視写、文章を読む1週間に4回以上行ったか。 目標値 教職員の80%以上が達成	B	◇ 授業中だけでなく、ドリルタイムや家庭学習の中に取り入れてきたことにより、児童に習慣付けできた。効果はすぐには出ないが、学力の素地づくりとして大切にしていきたい。 ◆ 時間設定や具体的取組例の提示等、共通理解をして取り組む手立てが必要である。また、家庭学習で行ったことを授業の中で生かしていけるような授業展開を考えていくことも大切である。	4回 3回 2回 1回 0回 教職員アンケート	53% 27% 13% 7% 0%					
		④ 自分の考えを書く活動を取り入れた授業を授業時数の半分以上実施したか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 自分の考えを書く活動を意図的に取り入れることで、児童の発言が増えた。しかしながら、書くことの指導を取り入れた授業改善がまだまだ不足している。 ◆ 研修会等をおして、具体的な指導の情報交換をしながら、児童が自分の考えをもって主体的に取り組むための「書く活動」を有効に取り入れていきたい。さらに、実践しながら、よりよい方法を見つけていきたい。	教職員アンケート	13% 62% 19% 6% 0%					
		⑤ 低学年20分、中学年45分、高学年75分以上の家庭学習の習慣が身に付いているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 児童と教師・保護者の結果に大きなずれがある。児童は、時間的にはやっているが、その内容や方法に課題があると考えられる。また、児童の取組についての個人差が大きい。1時間程度でできる宿題の量でも、「宿題が多すぎる」という保護者もいるなど、保護者の個人差もある。 ◆ 家庭学習の様子について、もう少し詳しく把握したうえで、家庭学習の内容や基準量等について研修会等で話し合い、児童への指導を徹底するとともに、保護者へも啓発していく。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	7% 50% 29% 14% 0% 64% 24% 9% 3% 0% 12% 46% 33% 7% 2%					
学校関係者評価委員の所見	・ 国語科を中心に「書く活動」を取り上げて指導することはよいことだと思う。その取組を保護者へも周知して、さらに進めてほしい。 ・ むりはない。わかる授業を今後してほしい。おもしろく、興味のわく授業内容であれば、児童も自主的に取り組むことができると思う。 ・ 個々の学力の差が大きくなってはいいないだろうか。 ・ 学級内に、学び合える雰囲気をつくるよう努めてほしい。 ・ 学校と家庭が両輪となって、望ましい家庭学習の習慣を身に付けさせてほしい。 ・ 読書の充実を図ってほしい。	学校の対応	学校の取組を、学校だより・学年だより・ホームページ等で保護者へ周知するとともに、今後も研究を深める。 ・ わかる授業・楽しい授業等、児童が興味関心をひく授業への改善を図るよう、研修を深め、指導力の向上を図る。 ・ 児童一人一人の実態の把握に努め、個に応じた指導の徹底を図るとともに、補充学習の充実を図る。 ・ 何でも言える人間関係をつくり、ともに学ぶ集団としての雰囲気づくりに努める。 ・ 「家庭学習の手引き」を再度確認し、家庭との連携を密にして、望ましい家庭学習を身に付けさせるよう指導の徹底を図る。 ・ 朝読書や読み聞かせの充実を図るとともに、「ピカイヤ読書大賞」を設け、読書に対する意欲を高め、望ましい読書習慣を身に付けさせる。								
心の教育の充実にも努める	⑥ 体験活動等を生かした心に響く道徳教育の実践に努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 教職員の結果に4の評価がないのは反省しなければいけない。謙虚に答えているのかも申しないが、実践に努めていると自信がもてないのは問題である。 ◆ 行事や他教科との関連を図りながら、さらなる教材研究をして実践に努めるとともに、日々の授業の中で、それぞれが意識をもって実践していく必要がある。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	0% 84% 8% 8% 0% 66% 26% 6% 2% 0% 10% 59% 5% 2% 24%						
	⑦ 児童一人一人を大切にしながら学級経営を行い、望ましい人間関係づくりに努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 教職員・児童・保護者ともに、昨年度に比べて、若干ではあるが評価がよくなっているが、まだまだ、児童の中には、友達の良い気持ちは考えなかったり、自己肯定感が低く、友達の言動をマイナスに受け止めてしまう児童がいる。 ◆ あらゆる場面で児童理解に努め、個に応じた支援をするとともに、お互いが助け合える雰囲気を学級内に作ってほしい。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	23% 69% 0% 8% 0% 87% 9% 3% 1% 0% 18% 61% 4% 3% 14%						
	⑧ 人権・同和教育に視点をあてた学習を計画通り実施しているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 年間指導計画に沿って計画的に実施しているが、その内容や実施方法等について、教師自身がまだまだ自信がもてていないのが現状である。 ◆ すべての教育活動の中で人権の視点を意識しておくことはもちろん、さらに研修を深め、自信をもって人権・同和教育の視点を強く意識した授業を展開していくよう努める。	教職員アンケート	7% 79% 7% 7% 0%						
	⑨ 差別や偏見につながる問題の解決が日常的に図られているか。 目標値 教職員・児童の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 児童の様子や日々の小さな変化に気付けるよう、日記指導や日常の会話等を大切にしてきた。大きな問題はないが、時々、思いやりに欠ける言動等がある。 ◆ 日々児童の様子や変化に気付けるよう、引き続き日記指導や会話を大切にするとともに、昼休み等には、努めて児童と遊ぶようにする。また、特別支援学級に対する意識について、指導をしていく必要がある。	教職員アンケート 児童アンケート	12% 82% 6% 0% 0% 53% 36% 9% 2% 0%						
学校関係者評価委員の所見	・ 道徳についての研究を進めてほしい。 ・ 感動のある道徳の授業をしてほしい。 ・ 性格の違いも個人差もあるが、教師自身が「いい子」「悪い子」と決めつけず、子ども達ひとり ・ 家庭で人権・同和教育について話し合うのはなかなか難しいと思うので、話題の提供や啓発に努めてほしい。 ・ 日記指導を大切にほしい。	学校の対応	道徳の教科化に向けての研修を進める。 ・ 体験活動を通して、情豊かな心を育て、心に響く感動のある道徳授業実践に努める。 ・ 児童一人一人を大切に、児童理解に努めるとともに、個に応じた対応を心掛ける。 ・ 校区別人権・同和教育懇談会等の充実を図るとともに、学校教育全体の中で行われる人権・同和教育についても、情報提供や啓発に努める。 ・ 児童理解を深めるためにも日記指導の継続指導に努める。								

2	生徒指導	生徒指導の充実と健全育成に努める	<p>① 進んであいさつができる児童が育っているか。 目標値 教職員・児童・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>② いじめ・不登校の早期発見、早期対応に努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>③ スクールソーシャルワーカーを活用したり、教育相談による児童理解に努めたりしながら、児童の悩みに積極的に対応しているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p>	B	<p>◇ まだまだ個人差がある。また、登下校中や教師に対してはできるが、友達同士や地域でのあいさつは、まだまだできない児童が多い。</p> <p>◆ いつでもどこでも、自分から進んで気持ちのよいあいさつができるよう、指導を徹底していきたい。児童会や人権委員会の取組を、全校児童に浸透させるよう工夫していく。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>6%</td><td>72%</td><td>22%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>54%</td><td>40%</td><td>5%</td><td>1%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>23%</td><td>54%</td><td>15%</td><td>3%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>地域住民アンケート</td><td>44%</td><td>50%</td><td>6%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </table>	教職員アンケート	6%	72%	22%	0%	0%	児童アンケート	54%	40%	5%	1%	0%	保護者アンケート	23%	54%	15%	3%	4%	地域住民アンケート	44%	50%	6%	0%	0%
		教職員アンケート	6%	72%	22%	0%	0%																							
		児童アンケート	54%	40%	5%	1%	0%																							
保護者アンケート	23%	54%	15%	3%	4%																									
地域住民アンケート	44%	50%	6%	0%	0%																									
学校関係者評価委員の所見	<p>・ あいさつのできない教師が、子ども達に「あいさつをしろ」と言っても伝わらない。教師自らが進んでほしい。</p> <p>・ 人数が多く大変だけど、児童を意欲的に観察して細かな変化も見逃さないようにしてほしい。</p> <p>・ 子ども達としっかりと触れ合ってほしい。</p> <p>・ 対話を大切にほしい。</p> <p>・ 中学校との連携も大切にほしい。</p>	学校の対応	<p>・ 教師自らが率先してあいさつをする。児童は、「スマイルあいさつデー」や人権委員会の取組等を継続し、気持ちのよいあいさつができるよう意識付けをする。</p> <p>・ 意識して児童と触れ合う時間を確保し、心を通わせるよう努める。</p> <p>・ 機会あるごとに情報交換をし、より一層中学校との連携を深める。</p>																											
健康安全教育の充実	<p>① 児童に「早寝・早起き・朝ご飯」、「後始末」の習慣が身に付いているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>② 学校給食を通して、児童に望ましい食習慣や運動に親しむ習慣が身に付いているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p>	B	<p>◇ 昨年度からあまり変化がなく、改善されていない。個人差はあるが、児童だけでなく、保護者・教職員の意識もまだまだ低いと思われる。</p> <p>◆ 共通理解を図って指導を徹底させていくとともに、PTA行事等を通して、保護者へも啓発し、改善を図ってきたい。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>6%</td><td>50%</td><td>38%</td><td>6%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>65%</td><td>27%</td><td>7%</td><td>1%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>15%</td><td>46%</td><td>35%</td><td>3%</td><td>0%</td></tr> </table>	教職員アンケート	6%	50%	38%	6%	0%	児童アンケート	65%	27%	7%	1%	0%	保護者アンケート	15%	46%	35%	3%	0%								
教職員アンケート	6%	50%	38%	6%	0%																									
児童アンケート	65%	27%	7%	1%	0%																									
保護者アンケート	15%	46%	35%	3%	0%																									
3	保健管理	<p>① 特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ、校内の協力体制が機能しているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>② 特別な教育的支援を必要としている児童に、効果的な指導を行っているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)</p>	B	<p>◇ 教職員と保護者や児童の評価にずれがある。全体と個人の違いはあるが、意識の違いによるものが多いのではないと思われる。</p> <p>◆ 教職員の意識改革だけでなく、保護者の意識改革にもしていく必要がある。保護者との連携を密にしていけるとともに、機会をとらえて情報発信や啓発をしていきたい。また、運動については、目標値を設定させる等の工夫をして、意欲化を図ってきたい。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>0%</td><td>53%</td><td>41%</td><td>6%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>65%</td><td>19%</td><td>8%</td><td>8%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>23%</td><td>59%</td><td>14%</td><td>1%</td><td>2%</td></tr> </table>	教職員アンケート	0%	53%	41%	6%	0%	児童アンケート	65%	19%	8%	8%	0%	保護者アンケート	23%	59%	14%	1%	2%							
教職員アンケート	0%	53%	41%	6%	0%																									
児童アンケート	65%	19%	8%	8%	0%																									
保護者アンケート	23%	59%	14%	1%	2%																									
4	特別支援教育	特別支援教育の充実	<p>① 特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ、校内の協力体制が機能しているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>② 特別な教育的支援を必要としている児童に、効果的な指導を行っているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)</p>	B	<p>◇ 研究会や児童を見つめる会等で、情報の共有等をして共通理解を図ってきた。</p> <p>◆ 今後もさらに研修を深め、具体的な取組等について考えていく必要がある。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>0%</td><td>79%</td><td>16%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> </table>	教職員アンケート	0%	79%	16%	5%	0%																		
		教職員アンケート	0%	79%	16%	5%	0%																							
学校関係者評価委員の所見	<p>・ 子ども達は、給食をおいしくいただいているようである。</p> <p>・ 給食をありがたく食べてほしい。</p> <p>・ 家庭環境や家庭の教育力に差があると思う。機会をとらえて調査をしてみようか。</p>	学校の対応	<p>・ 食に関する教育の充実を図るとともに、家庭との連携を密にして、望ましい食習慣の定着を図るよう努める。</p> <p>・ 「生活アンケート」を実施し、児童の実態を把握して、今後の指導に生かす。</p>																											
特別支援教育	<p>・ 通級指導教室に通う児童や、個別の支援が必要な児童へもしっかりと対応してほしい。</p> <p>・ 通級指導教室に通う児童の送迎を保護者がするのは大変なのではないか。</p> <p>・ 特別支援学級の保護者が、熱心である。</p>	学校の対応	<p>・ 個別の指導計画を作成し、個に応じた指導に努める。</p> <p>・ 保護者が協力的でありたい。今後もより一層連携を深めたい。</p>																											
特別支援教育	<p>① 4の評価はないが、今の現状としては、TTや個別指導等を通して努力はしている。</p> <p>◆ 通常学級にも特別な支援を必要とする児童はたくさんいるため、効果的な児童につきさらに研修を深めるとともに、指導体制についても考えていく必要がある。</p>	A	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>0%</td><td>83%</td><td>11%</td><td>6%</td><td>0%</td></tr> </table>	教職員アンケート	0%	83%	11%	6%	0%																					
教職員アンケート	0%	83%	11%	6%	0%																									

5 研 修	教職員の資質と指導力の向上に努める	① 校内研修は現職教育計画に沿って効果的に実施されているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 今年度は研究主題や中心教科も新しくなったため、試行錯誤を重ねながらではあるが、計画に沿って計画的に進められている。 ◆ 最も大切な「授業」について、授業研をとおして、授業改善及び資質の向上に努めたい。今後は、少しずつ焦点を絞って研修を深めていきたい。	教職員アンケート	15%	85%	0%	0%	0%
		② 校内・校外研修に主体的に参加し、自己研修に努めているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 校内の研修は、時間の確保がなかなか難しい部分はあるが、計画的に進められているうえ、それぞれが積極的に参加し、充実している。校外研修については、まだまだ満足できていないのが現状である。 ◆ 夏休みを利用して、いろいろな研修に参加する予定である。それを持ち帰り、全員で共有できるようにしていきたい。	教職員アンケート	5%	84%	11%	0%	0%
		③ 信頼される教師として、視野の拡大や資質の向上に努めているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 教職員間で、指導技術や資質の向上について教え合う場面がある。保護者・地域住民の「？」が多いのは、情報発信不足や日常のかかわりが少ないことが考えられる。 ◆ 日々のていねいな対応と、折に触れ地域に足を向ける等して、信頼を積み重ねていきたい。また、どの教職員でも同じ対応ができるよう、情報の共有化と共通理解をきちんとしておきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	0% 15% 17%	95% 60% 61%	5% 7% 5%	0% 1% 0%	0% 17% 17%
学校関係者評価委員の所見	・ 先生方に研修の機会をできるだけ多く与えてほしい。 ・ しっかりと研修を積んで研鑽してほしい。	学校の対応	校内研修は、研修主任を中心に計画的に進められている。夏休み中にはそれぞれ各種研修会へも積極的に参加して学んだ。今後も積極的に研修会へ参加するとともに、自己研修にも励む。							
6 保 護 者 ・ 地 域 住 民 等 と の 連 携	保護者・地域住民との連携に努める	① 保護者・地域住民の学校への願いを把握し、適切に対応するよう努めているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 保護者・地域住民の要望や意見については、しっかりと受け止め、一人だけで対応せず組織として対応するようにしている。「？」が多いのが気になる。 ◆ 子ども達のことを一番考えての対応が必要である。スピード感と誠実さをもって、今後も組織として、思いにこたえられるよう対応していきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	16% 13% 22%	74% 55% 66%	10% 8% 6%	0% 2% 0%	0% 22% 6%
		② 保護者と教職員が協力したPTA活動が行われているか。 目標値 教職員・保護者の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 参観日等の参加率も高いうえ、役員を中心に、学校の教育活動やPTA活動に協力的な保護者が多い。 ◆ 今後も情報提供に努めるとともに、保護者と教職員の望ましい人間関係を築き、協力して活動していきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート	16% 19%	84% 65%	0% 6%	0% 1%	0% 9%
		③ 地域の人材や教育資源を活用するなど地域の教育力を取り入れた教育活動を推進しているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 毎年のことながら、登下校の安全指導や授業等に協力していただき感謝している。総合的な学習や生活課を中心に、地域の方々や関係諸機関に協力していただき、学習の効果を上げることができた。 ◆ 「人材バンク」の作成等をおして、何をさせていただくことができるのか精査し、地域に開けた、地域力を活用できるようにしていきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	16% 14% 6%	79% 67% 61%	5% 5% 11%	0% 1% 0%	0% 13% 22%
		④ 学校便りやホームページ等で学校の取組が積極的に発信されているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 比較的よい評価をいただいているが、学年によって発信回数等に差があった。 ◆ 学年による発信回数や内容に偏りが出ないように努めるとともに、その内容についても充実させるように努めていきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	26% 27% 50%	63% 59% 44%	0% 7% 0%	11% 2% 0%	0% 4% 6%
学校関係者評価委員の所見	・ 夏祭り等、地域行事に積極的に参加し、一生懸命取り組んでもらっている。とてもありがたい。 ・ 教職員もできる範囲でぜひ参加してほしい。 ・ 見守り隊等との下校指導の時、児童クラブに行く子ども一度自分の地区に並ばせて顔合わせできるようにしてほしい。	学校の対応	保護者や地域が協力的でありがたい。今後も連携を図りたい。 ・ 地域行事等、様々な体験の場を与えていただけるとはありがたい。学校としても積極的に支援していきたい。 ・ 児童の安全について、いつも御協力いただき感謝している。下校指導の時は、自分の地域に並ばせて見守り隊の方々等と顔合わせができるようにする。							

